

# 平成24年度事業評価シート

事業名	20600	財政管理費	担当課	財務部 財政課		内線 2439	
	枝番						
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	7	構想の着実な推進をめざして
	款	2	総務費		分野	2	行財政運営
	項	1	総務管理費		基本施策	2	健全で持続可能な財政基盤の確立を図る
	目	6	財政管理費		施策	1	適正な財政運営
根拠計画							
実施計画事業							
市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ・入湯税の予算充当方法について見直し。 ・農工業・地産産物をさらに発展させます。 ・景気の低迷による市民生活の不安感を払しょくし、元気の出るまちづくりを実施するため、累積財政から積極財政への転換を行います。 多様な媒体を活用して行政情報の公表、公開、提供を行い、情報公開日本一を目指します。					
	11						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,861 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	健全で持続可能な財政基盤の確立		
概要	事業の実施手法(手段)	市債残高の計画的な削減		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績						
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	成果指標	実質赤字比率	%	目標値	- (黒字)	- (黒字)	-
				実績値	- (黒字)	- (黒字)	-
	算出根拠等	健全化判断比率	達成率(%)		100	100	-
	成果指標	将来負担比率	%	目標値	15.0	3.6	-
				実績値	- (将来負担なし)	- (将来負担なし)	-
	算出根拠等	健全化判断比率	達成率(%)		100	100	-
	成果指標	実質公債費比率	%	目標値	11.9	10.6	-
				実績値	10.7	9.4	-
	算出根拠等	健全化判断比率	達成率(%)		100	100	-
	成果指標	市債残高	千円	目標値	48,511,000	45,839,000	42,329,000
実績値				48,766,184	45,512,497	-	
算出根拠等		達成率(%)		100	100	-	
算出根拠等		達成率(%)					
補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	
	歳出 (千円) (A)			1,190	1,263	2,000	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源			1,190	1,263	2,000	
コスト指標	受益者1件当たり(円) (A/B)						
	受益者 (B)						

## 3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	内部事務のため	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	評価対象外	内部事務のため	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外	内部事務のため	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	評価対象外	内部事務のため	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	評価対象外	内部事務のため	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		/	→	100点換算	評価対象外 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なのかを記入)

(参考)  
H23事業評価結果(二次評価)  
適正な財政運営

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	市債残高の計画的な削減				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	(担当課評価に同じ)				

# 平成24年度事業評価シート

事業名	20875	契約検査関係事務費	担当課	財務部 財政課		内線 2458
	枝番					
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	7 構想の着実な推進をめざして	
	款	2 総務費		分野	2 行財政運営	
	項	1 総務管理費		基本施策	1 簡素で効率的な行政運営を行う	
	目	8 財産監理費		施策	3 行政改革の推進	
根拠計画						
実施計画事業						
市長公約	10	市民のための行政改革を断行します。公共事業の発注方法、入札方法等の再検討、正常化を行います。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,861 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	工事、物品、委託その他の公共調達等に係る公正公平な契約事務の執行 工事、工事関連業務に係る適正な検査の実施		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約審査委員会による発注方針の決定</li> <li>・一般競争入札、指名競争入札、随意契約による契約締結</li> <li>・検査員による中間、出来形、完成検査の実施</li> </ul>		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合評価落札方式による一般競争入札本格実施(建設工事26件)</li> <li>・建設コンサルタント業務委託における一般競争入札試行実施(5件)</li> </ul>				
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	成果指標	総合評価落札方式による一般競争入札件数	件	目標値		20	
		実績値		11	26	-	
		算出根拠等		達成率(%)		130	-
	活動指標	契約件数	件	目標値			
		実績値		2330	2289	-	
		算出根拠等		達成率(%)			-
	活動指標	検査件数	件	目標値			
		実績値		584.0	619.0	-	
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
			実績値			-	
	算出根拠等		達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)(A)		729	869	1,000		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源	729	869	1,000			
コスト指標	受益者1件当たり(円)(A/B)						
	受益者	(B)					

## 3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか</li> <li>・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか</li> </ul>	A (2) ニーズが高い	評価対象外	内部事務のため	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が事業主体であることは妥当か</li> <li>・国・県・民間の活動と競合していないか</li> </ul>	A (2) 事業主体を見直す余地はない	評価対象外	内部事務のため	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的とする成果があがっているか</li> <li>・成果指標などの目標値の達成状況はどうか</li> </ul>	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外	内部事務のため	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最小限のコストで事業を実施できているか</li> <li>・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか</li> <li>・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか</li> <li>・受益者負担は適正か</li> </ul>	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	評価対象外	内部事務のため	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか</li> <li>・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか</li> <li>・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか</li> </ul>	A (2) 効果があった	評価対象外	内部事務のため	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		/	→	100点換算	評価対象外 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	
---------------------------------------	--

(参考) H23事業評価結果(二次評価)	必要な見直しを行いながら引き続き適正な事務処理に努める
----------------------	-----------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	H24完了予定
	必要な見直しを行いながら引き続き適正な事務処理に努める				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	H24完了予定
	(担当課評価に同じ)				

# 平成24年度事業評価シート

事業名	21900	諸費	担当課	財務部 財政課		内線 2439
	枝番					
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	7 構想の着実な推進をめざして	
	款	2 総務費		分野	2 行財政運営	
	項	1 総務管理費		基本施策	2 健全で持続可能な財政基盤の確立を図る	
	目	19 諸費		施策	2 財源の確保	
根拠計画						
実施計画事業		諸費				
市長公約						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,861 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	健全で持続可能な財政基盤の確立		
概要	事業の実施手法(手段)	財源の確保		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原発事故風評被害対策等に対する特別交付税要望活動の実施</li> <li>・飛騨高山ふるさと寄附金に関するPRの実施</li> </ul>					
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
算出根拠等			達成率(%)			-	
			目標値				
			実績値			-	
算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円) (A)		1,399	1,943	3,000		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
		一般財源	1,399	1,943	3,000		
コスト指標	受益者1件当たり(円) (A/B)						
	受益者	(B)					

## 3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	内部事務のため	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	評価対象外	内部事務のため	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外	内部事務のため	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	評価対象外	内部事務のため	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	評価対象外	内部事務のため	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		/	→	100点換算	評価対象外 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)

(参考) H23事業評価結果(二次評価) 確実な財源の確保

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	確実な財源の確保				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	(担当課評価に同じ)				